

## ■ 9月例会を開催



当協議会は9月14日に、当協議会メンバーである(株)ラダー経営ネットワーク代表取締役 坂本 力氏を講師に招き「企業における人材育成計画」をテーマにセミナーを開催した。参加者は12名。

「労働生産性」を高めるためには社員のエンゲージメントを高める人材育成計画が重要である。そのためには、まず経営理念から「行動の原点」をつくり、そこから全社共通の「求める人材像」や部門固有の階層別「求める人材像」を明確化し、公平性・納得度の高い人事評価制度を構築することが大切である。人事評価制度の内容を社員によく理解してもらったうえでの人事評価結果を本人や担当幹部にフィードバックすることが社員のモチベーションに大きな影響をあたえ、「社員の成長」に結びつくとの指摘を受けた。

そして最後に 連合艦隊司令長官 山本五十六の『やって見せ、言ってみせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず』の言葉で終了となった。



## ■ 10月例会／50周年記念企業視察を開催

当協議会は、本年で創立50周年を迎えることとなり、10月7日～9日に、東日本大震災からの復旧が進みつつある宮城県のゼライス株式会社（多賀城市：設立／1941年10月 代表取締役社長／稲井謙一氏）・および震災伝承館等の視察を実施。参加者は15名。



総務部次長 北島一浩氏によると、大きな揺れが長く続きはしたが事務所及び工場内の機器や商品が散乱した程度で従業員の安否が確認できたことで、どことなく緊張感が緩んだような感じに陥り、大津波警報が発令されても津波の経験がなかったことから、たいしたことはないだろうと思った従業員が、家族の安否確認のため帰宅を求め始めたことに対し社屋の安全な場所で待機させた決断が、その後事務所周辺に押し寄せてくる2m超の津波からの2次災害を防ぐことに繋がった点や、納品の影響が出る取引先へ速やかに被害状況を報告し対応をお願いしたこと、また事業の早期復旧のため出社可能となった従業員を居住期別に4区画に分け4交代での出社の取組等は大変参考となった。



2日目は、みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻）・東日本大震災遺構・伝承館（気仙沼）・陸前高田の奇跡の一本松・南三陸さんさん商店街を訪問し、震災・津波への警戒心を高め復興に取り組んでいる人々の力強さを実感することができた。



みやぎ東日本大震災津波伝承館



東日本大震災津波伝承館



奇跡の一本松



南三陸さんさん商店街